

2022年度 日本工学院専門学校											
ITスペシャリスト科／システム専攻											
プロジェクトマネジメント											
対象	3年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	煤孫統一郎			実務経験	有	職種	システムエンジニア				
担当教員紹介											
大手関連SI企業で20年間システムエンジニアとして勤務。プロジェクトリーダーとして要求分析から運用までを担当した実務経験を持つ。システム開発の現場で、大手流通企業を顧客としてEDIシステムの開発に従事した。システム開発以外に、研究開発の実務経験、教育部で社内研修開発とインストラクタとしての実務経験、販売推進部でサービス開発の実務経験も有する。情報処理学会会員。											
授業概要											
プロジェクトを成功に導く上でシステムエンジニアに必要とされるプロジェクトマネジメントスキルを実践レベルで身につける。演習を通じて、プロジェクトマネジメントスキルを身につけることで、マネジメントの「技法」だけでなく、チーム開発を円滑に進めていくために必要な「留意点」や「視点（目線）」、「勘所」などを理解する。これは、チームのリーダーとしてだけではなく、メンバとしてプロジェクトを推進していく場合にも不可欠な学びとなる。											
到達目標											
PMBOKの知識管理体系の中から、「スコープ管理」、「スケジュール（進捗）管理」、「プロジェクトチームの管理」、「実績報告、リスク（課題）の監視／管理」について、演習を通して、重点的に学習する。これにより、プロジェクトマネジメントの必要性を体感的に覚える。また、プロジェクトが思い通り進まない場合に、原因分析や、その対処方法についても合わせて身につける。											
授業方法											
まず、オリエンテーションで、プロジェクトマネジメントの本質（重要性）を知り、学習することの意義を理解する。次にPMBOKの知識管理体系を学習し、管理対象や管理方法について知識レベルで身につける。そして授業のおよそ2／3を費やし、並行して実施される「システム開発グループ演習2」で作成したガントチャートを用いた進捗管理演習を行う。週に一度、進捗報告資料や課題管理表を作成し、担当教員を顧客と見立てて定例報告を行いフィードバックを受ける。必要に応じ、遅延や課題に対する対処の検討も行う。											
成績評価方法											
試験・課題 30％ 定期試験の結果を評価する 小テスト 0％ レポート 60％ プロジェクトマネジメント演習の内容、および成果物を総合的に評価する 成果発表 0％ 平常点 10％ 授業に取り組む姿勢を評価する											
履修上の注意											
品質管理については、テスト技法で重点的に学習することとし、本科目では、演習の対象としない。本科目で行う演習は、「システム開発グループ演習2」と連携しながら行う。「システム開発グループ演習2」と同様に、チームでの作業になるため、メンバとしっかりコミュニケーションをとり、遅刻・欠席等で迷惑を掛けないようにすること。本科目も目的・目標をしっかりと理解し、能動的に授業に取り組むこと。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
未定											
回数	授業計画										
第1回	オリエンテーション プロジェクトマネジメントの重要性を知り、学習することの意義を理解する										
第2回	プロジェクトマネジメント手法(1) PMBOKの知識管理体系を理解する										
第3回	プロジェクトマネジメント手法(2) PMBOKに定義されている管理項目のうち本科目で重点的に学習する項目を把握する										
第4回	プロジェクトマネジメント手法(3) プロジェクトマネジメント演習の進め方を理解する										
第5回	プロジェクトマネジメント演習(1) 進捗報告資料を作成し、科目担当の先生に対し進捗報告を行い、フィードバックを受ける										

2022年度 日本工学院専門学校	
I T スペシャリスト科／システム専攻	
プロジェクトマネジメント	
第6回	プロジェクトマネジメント演習(2) 進捗報告資料を作成し、科目担当の先生に対し進捗報告を行い、フィードバックを受ける
第7回	プロジェクトマネジメント演習(3) 進捗報告資料を作成し、科目担当の先生に対し進捗報告を行い、フィードバックを受ける
第8回	プロジェクトマネジメント演習(4) 進捗報告資料を作成し、科目担当の先生に対し進捗報告を行い、フィードバックを受ける
第9回	プロジェクトマネジメント演習(5) 進捗報告資料を作成し、科目担当の先生に対し進捗報告を行い、フィードバックを受ける
第10回	プロジェクトマネジメント演習(6) 進捗報告資料を作成し、科目担当の先生に対し進捗報告を行い、フィードバックを受ける
第11回	プロジェクトマネジメント演習(7) 進捗報告資料を作成し、科目担当の先生に対し進捗報告を行い、フィードバックを受ける
第12回	プロジェクトマネジメント演習(8) 進捗報告資料を作成し、科目担当の先生に対し進捗報告を行い、フィードバックを受ける
第13回	プロジェクトマネジメント演習(9) 進捗報告資料を作成し、科目担当の先生に対し進捗報告を行い、フィードバックを受ける
第14回	プロジェクトマネジメント演習(10) 進捗報告資料を作成し、科目担当の先生に対し進捗報告を行い、フィードバックを受ける
第15回	クロージング 演習結果について担当教員から学生に総評を伝え、振り返りを実施する